

日高義博氏が総長に就任

学校法人専修大学の第9代総長に、日高義博前理事長が就任した。学校法人専修大学寄附行為第5条に基づいて総長推戴手続きが行われ、12月15日の理事会・評議員会で推戴された。就任は16日付。総長は「法人統合の表徴」と位置付けられている。森口忠造前総長が1988年に死去した後は空位になっていた。



総長就任の挨拶

総長 日高 義博

【略歴】(ひだか・よしひろ) 1970年専修大学法学部卒業。75年明治学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同年専修大学法学部専任講師。84年同教授。2001年専修大学法学部部長。04年専修大学大学院法務研究科(法科大学院)教授。04、13年専修大学理事長。21年学校法人専修大学理事長。18年専修大学名誉教授。

新年、おめでとうございます。コロナ禍の中で大学運営も非日常の連続ですが、今年こそは、活気みなぎるキャンパスに戻すことを願っています。この2年間、皆様には並々ならぬご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。

昨年11月2日に理事長を退任いたしました。理事会の決議により、学校法人専修大学寄附行為の下で総長推戴の準備が進められ、各機関の総意により12月16日付で第9代総長に就任いたしました。三千数年空位であった総長職を担うことになり、身の引き締まる思いです。

九州の宮崎から上京し、18歳で専修大学法学部に入学して以来、55年の歳月が流れました。検事志望で法学部に入学しましたが、専修大学において刑法学に魅了され、研究者の道へ歩くことになりました。節目節目に良き師に出会い、暗闇に一筋の光が差し込む如く問題解決の糸口が見え、直観に基づ

その業務を総理し、学長は校務をつかさどり、所属職員を統轄するというのが法的な基本形です。そして、大学改革の実現のために理事長と学長を兼務することはあっても、総長が理事長あるいは学長と兼務することはないというのが、今回の総長推戴の形だと考えています。総長は、学校法人の表徴として建学の精神を護持しなければなりません。本学の知の発信力を高めるとともに、学生・卒業生に専修人としての生き方を示し、社会性の開発の具現化に尽力することが責務だと考えています。

知の発信力を高め 専修人の生き方示す

営に携わるようになり、私学の自律的發展を期した大学間競争が始まった時期には専修大学学長となり、迅速かつ的確な大学改革を実現するた

を造るべく多大な貢献をされました。大学教育がマスプロ教育化していく中で在学人数が増加する時期にあつては、川島正次郎第6代総長、相馬勝夫第7代総長、森口忠造第8代総長が大

約51万人になるものと推計されています。大学の統廃合が進む中で、私学の自主性・自律性が正面から問われることとなります。建学の精神に基づく教育・研究により社会に有為な人材をいかに輩出し続けるかが大学評価の指標となります。来たるべき専修大学創立150年・石巻専修大学創立40年に向けて、建学の精神の下にオール専修の力を結集し、本学の更なる発展に寄与する所存です。

現在では、理事長は学校法人を代表

ニュース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

専修大学ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

- 1 松木健一理事長・佐々木重人学長 年頭所感………
- 2 難関突破 合格祝賀式/公認会計士合格者………
- 3 育友会奨励賞 9個人と2団体が受賞/
- 4 【学生寄稿】福島のいま 現地で学ぶ………
- 5 SDGsチャレンジプログラム学長賞決まる………
- 6 石巻専修大学 尾池守学長 年頭の抱負………
- 7

おことわり
マスク未着用の写真は
撮影時のみ外しています

出願受付中

【一般選抜】 スカラシップ・ 全国入学試験	試験日 2月1日(火) 2日(水)
出願締切日	1月24日(月) ※消印有効
【一般選抜】 前期入学試験	試験日 2月9日(水) 10日(木) 12日(土) 13日(日)
出願締切日	2月2日(水) ※消印有効
窓口受付日	2月3日(木) 専修大学 生田キャンパス

詳細はホームページで必ずご確認ください。



https://www.senshu-u.ac.jp

入学センターインフォメーション
◆神田キャンパス TEL 03-3265-6677
◆生田キャンパス TEL 044-911-0794

駆け抜けた 新春の箱根路

第98回箱根駅伝

東京・大手町〜神奈川・箱根町(往復10区間、217.1km)を襷でつなぐ第98回東京箱根間往復大学駅伝競走が1月2、3日に行われ、新春の箱根路をSマークが駆け抜けた。2年連続70回目(歴代出場回数7位)の箱根駅伝に臨んだ陸上競技部は、1区で木村暁仁さん(経営2)が区間4位の力走を見せるなど、各選手が健闘。伝統の襷を最後までつなげ、前回大会より約13分タイムを縮め、11時間15分09秒の総合20位(往路19位、復路18位)でゴールした。

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、沿道での観戦や応援が自粛となったが、テレビやインターネットなどを通して、「オール専修」が選手たちに熱い応援を送った。

(8面に記事)



襷を手に鶴見中継所へラストスパートをかける木村さん